



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 23 年 7 月 2・3 日(土・日)
小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセル特別展示
in のしろ～ 宇宙から能代へ～ 編

いよいよ、能代市と宇宙航空研究開発機構(JAXA)主催の「はやぶさ」帰還カプセル特別展示 in のしろが開催されました！この帰還カプセル展示は全国で 44 カ所で開催される実に貴重なものです。

なぜ、能代は特別展示なのかと云いますと、全国応募の際は採択されませんでした。それを知ったJAXAが「全ての国内ロケット燃焼実験に関わる能代を外すとは何ごと」と特別に許可された、正に感動の企画なのです。

「はやぶさ」は、サンプルリターンを目標に川口淳一郎氏を中心とした研究者たちにより 2003 年 5 月 9 日に鹿児島県から M-V(ミュー5)型ロケットで打ち上げられました。その後、小惑星イトカワで二度目の着地の際(横転しながら)サンプル(微粒子)採取に成功！20分後にデータが送られてきましたが、2005 年 12 月 8 日に電波が途絶えてしまいました。この間、関係者達は必死にはやぶさとの通信復活を祈り、神社参拝も行ったと聞いています。

その後、2006 年 1 月 23 日、我が故郷、長野県佐久市臼田町にある「臼田宇宙空間観測所」の巨大パラボナアンテナ(直径 64m)が「はやぶさ」をキャッチ通信復活。2010 年 6 月 13 日、オーストラリア・ウーメン砂漠に無事着地、太陽系誕生の頃のサンプルを持ち帰りました。この宇宙の旅は 60 億キロにも及び世界で初めて小惑星から微粒を持ち帰った探査機としてギネスにも認定されました。

こんな世界初の展示がこの能代で、見れるなんて夢のようで、わくわくドキドキの 2 日間でした。

能代では、総合体育館を中心に子ども館(HAYABUSA 宇宙の旅特別企画や隕石展示、秋田大学、中田研究所科学実験コーナー、B 級グルメ)、エナジウムパーク(衛星模型の展示、工作コーナー)、ロケット実験場(ふだん見られない施設内公開、宇宙服の試着体験模型展示)の 4 会場で開催され、中でも総合体育館での記念講演JAXA宇宙科学研究



総合体育館ではこの企画ならではの内容が盛りだくさん！せっかくなので能代で開催されたのにもったいない！こともたくさん。



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

所の森田泰弘教授「イプシロンロケットが拓く新しい世界」、坂本成一教授の「小惑星探査機『はやぶさ』」の挑戦は無知の私に様々な知識を与えて下さいました。

ただ、集客が少なくほんとに「もったいない！」状況でした（因みに佐々木先生親子は参加）。能代市内の小、中学生は「カプセル展示」見学は実施したものの、科学者たちの講演も未来ある子どもたちに必要だったのではと思い残念！この展示は能代市内のみでなく県内全域に周知するべきものと考えます。何か得策は無かったものかしら～もったいない！を連発した一日となりました。

総合体育館での展示の中には、大学生を中心としたロケットイベントの活動パネルの展示もあり、上町ほっとステーションでの東海大学の学生さんたちがロケット組立をしている様子が展示され、とても嬉しく思いました。また、展示期間中、私たちにもできることをと企画したオープンカフェ会場周辺だけでなく、まちなかにも賑わいをと思い、能代市中央商店会、上町自治会でNW 所有の秋田スギ機材一式（テーブル・ベンチ・パラソル）を借用し設置。冷茶で訪れた方々をおもてなし…。涼を求め、道行く人々に人気を集めていました。

二日間とも好天に恵まれ、シャトルバスも 4 会場を運行、宇宙を愛して止まない人たちには最高な二日間だったと思います。能代の資源としても今後ますます活用するべきですね。能代には 24 年ほど前から「銀河連邦共和国」があり、能代、三陸、相模原佐久、内之浦、大樹の 6 市町が宇宙で繋がっています。子どもたちの明るい未来のために、大人たちが「夢」を持つことから始めましょう（^^♪

8 月 20 日からは、いよいよ「宇宙イベント」が始まります。楽しみですね～～～（*_^*）

文： 能登 祐子



ロケット実験場はふだん見られない施設内でも公開されました。



佐々木先生親子を会場で発見！！



金勇 2 階の大広間では宇宙・ロケットトークも開催されました。



まちなかにスギ機材を出しておもてなし。